

市民と育む海老川うるおい創生活動

【支援金確定額：900,000円 支援率：47.54%】

取材日：平成23年（2011年）6月5日

■どのような活動をされていますか？

市民の意識の醸成を図りながら、海老川の環境資源を知り、継承する為の啓発活動を実施しています。また、2大イベント「海老川親水市民まつり」と「福像めぐり」の機会には船橋の産物が味わえる出店を増やすなど、海老川に親しみ、潤いを感じ、愛護意識を高めるための取り組みを行っています。

他に一般市民参加による河川清掃や現況調査の実施、市民参加によるウォーキング、マップや海老川の環境を紹介する冊子の作成をしています。これらの成果をもとに必要に応じて研修、講習会等も行っています。



「海老川親水市民まつり」の賑わい

■支援金をどのように活用されますか？

イベント開催のお知らせチラシ、通信費、会議室使用料、親水祭りの経費等に活用しています。

特に「親水祭り」は毎年参加者も多く、私たちの活動を市民に理解して頂く最大の行事です。今年は3・11の東日本大震災による原子力発電所の事故もあり「がんばろう 日本」を合言葉にして、風評被害を拡大させないための努力、地元産物のPRに力を入れました。

小学生の絵画コンクールにおいて「昔話の中のかっぱ」をテーマに掲げることにより、「水はきれいに美しく」を表してもらいました。



「親子でカヌー乗船」は行列のできる人気イベントです

■今後の活動の抱負を教えてください。

まずは海老川に関する活動を進めます。「呼び戻そう故郷の自然」「水はきれいに美しく」「市民みんなが主役です」は会創立以来テーマに掲げています。海老川が昔のようなきれいな川環境に戻り、満足出来るようになるまでこの活動(特に2大イベント)を継続し、その環を船橋に定着させ、町おこしにつなげます。今後は、防災も視野に入れながら、昔馴染んだ自然の川の素晴らしさを一人ひとりに甦らせたいと思います。

～取材を終えて～

6月4日、5日、第26回「船橋海老川親水祭り」は、海老川のどじょう恵比寿像（前原川の分岐点）の近くの堤防に本部を設営し、JAいちかわ船橋支店の駐車場を第二特設会場として開催されました。さくら橋から鷹匠橋までの両岸に出店が連なり、主会場の周辺では健康相談、水質検査、絵画コンクール（テーマ：昔話のかっぱ）、模擬店、フリーマーケットが開かれました。本部の対岸に設営された舞台上で「ばか面おどり」、「和太鼓」、「日本舞踊」等の各市民団体の演技が行われ、手前の海老川ではカヌーに乗った親子が川面からの海老川の風景を楽しんでいました。また、第二特設会場では市の消防局、防災課の協力で「救命応急処置」・「ハシゴ車」・「起震車」・「消防車の放水」等の体験・試乗ができ、多くの市民が参加していました。

防災としての頑強な堤防と自然への回帰を期待する二つの異なるテーマ、町おこしによる経済の活性化への期待、また娯楽としての音楽や踊りが混然一体となり、祭りの雰囲気盛り上げていました。

このような毎年の活動を通して、きれいな川が呼び戻され、子供たちの世代へ繋がることを期待します。

■関わり先（連絡担当者）：事務局 菊地 けい子（きくち けいこ）

TEL：047-465-7790

E-mail:kikuchi-14719@lake.dti.ne.jp